

留学先：The University of Findlay

氏名： 加藤 裕樹

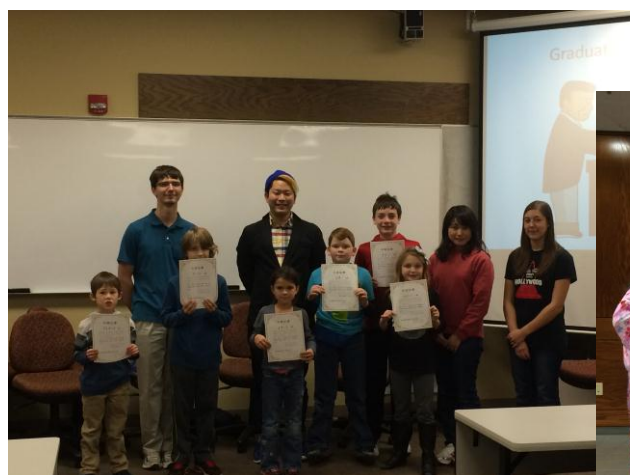
【はじめに】

フィンドレーで生活も4ヶ月目です。最近では、厳しい寒さが続くときもあります。今回の報告書では、私が授業以外で行っている活動を中心に報告していきたいと思います。

【Genki-Kids】

授業以外で、私の生活の最も多くを占めるものに、Genki-Kidsがあります。これは、地域の小学1年生から5年生に募集をかけて、子どもたちに日本語を教えるというプログラムです。私を含めた日本人2人と日本語を専攻するアメリカ人の学生2人が先生となり、日本語を教えました。今学期は6人の生徒が集まり、発表会を含めて8回の授業を行いました。

今学期のGenki-Kidsの目標は大きく2つありました。1つが日本語で自己紹介をすること、もう1つが日本語で歌を歌うことでした。「どんな色が好き」と「あたま・かた・ひざ・ぽん」を歌いました。私は将来、日本人の小学生に英語を教えたいわけですが、今回はアメリカ人の小学生に日本語を教えるという、まったく逆のことをしました。それを通して、外国語を教えることの難しさ、そして楽しさを痛感しました。どうしたら子どもたちのやる気を引き出せるのか、子どもたちが集中していないときや別のことをしているときにどういう言葉をかければ良いのか、ということにおいても勉強になりました。また来学期にも日本語を教えるのが楽しみです。



【遠足】

毎週水曜日にボランティアに行っている小学校の子どもたちと一緒に遠足に行ってきました。フィンドレー市内にある歴史博物館に行ったのですが、子どもたちが幼稚園生と1年生ということで、かなり大変でした。ある子は、道路のある雪を食べ続け、ある子は、歩いている列からすぐにはみ出してどこかに行ってしまいます。その子のたちのお世話をずっとしていました。アメリカの小学校の遠足に行けることなど滅多にないので、大変貴重な経験をさせていただきました。

【サンクスギビング】

11月の終わりにはサンクスギビングの休暇で、5連休がありました。その期間、仲良くなったアメリカ人のうちに泊まらせてもらいます。サンクスギビングの伝統的な料理を手伝わせてもらったり、銃のお店や、クリスマスのイリュージョンなど、たくさんのところに連れて行ってもらったりしました。写真を何枚か載せておきます。



ではまた来月の報告書で。